

事務事業名	アスベスト飛散防止対策支援事業		所属部局	建設部	単位番号	7089					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	建築住宅課	課長名	杉山 成悟					
			所属担当	建築・開発指導担当	担当者名	矢崎 幹男					
基本政策	基本計画	III うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	計画	15 市街地・住環境の整備	事業区分	01	一般	08	05	03	020	04	
施策	体系	25 住環境の整備		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 19 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	市アスベスト飛散防止対策支援事業						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
	吹き付けアスベスト等が使用されているか調査を行いその費用の補助を行う。また、その結果除去が必要な場合は、除去費の補助を行う。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
	1. 国に補助金交付申請を行う。2. 職員による事前調査を実施。3. 調査申請書の受付を行う。4. 調査の実施。6. 完了後請求書の受理。7. 補助金の交付。8. 国に補助金請求書の提出。			需用費	0						
				負担金、補助及び交付金	0						
										計	0

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	1件の調査実施	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
	27年度活動予定	1件の調査実施を予定。		ア	相談件数	件	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	吹き付けアスベスト等が一定量使用されている可能性がある建築物		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	吹き付けアスベスト等が飛散する恐れのある危険な建築物がなくなる		⇒	ア	吹き付けアスベスト等が含まれる建築物	数	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	・安全なまちづくり		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
				ア	調査件数	件	
				イ	除去した件数	件	
				ウ			
				⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア	安全と思う割合	%	
				イ			

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円	36	0	0	250				3,393
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	4	0	0	8				33
		事業費計(A)	千円	40	0	0	258	0	0		3,426
	人件費	正規職員従事人数	人	1			1				7
		延べ業務時間	時間	10			10				164
		人件費計(B)	千円	46	0	0	46	0	0		746
		(A)+(B)	千円	86	0	0	304	0	0		4,172
	活動指標	ア	件	2.0	0.0	0.0	2.0				
		イ									
		ウ									
	対象指標	ア	数	2.0		0.0	2.0				20.0
		イ									
		ウ									
	成果指標	ア	件	2.0	0.0	0.0	2.0				18.0
		イ	件	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		ウ									
	上位成果指標	ア	%								
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成19年度に国の補助制度創設されたのを受けて、市の要綱を作成して実施している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平成21年度から調査費用については100%補助になった。平成24年度に対象を市内全ての建築物に改め、要綱を改正した。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	要綱を改正し、特定の施設から全ての建築物が対象になるよう整備した。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	特になし。

事務事業名	アスベスト飛散防止対策支援事業	所属部	建設部	所属課	建築住宅課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 吹き付けアスベスト等の飛散を防止することで、安全を図るもので安全なまちづくりに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 吹き付けアスベスト等の飛散し吸い込むと将来的に肺ガン等を起こす恐れがある。吹き付けアスベストが一定量含まれる可能性のある建築物について調査及び除去を行なうことで住民の安全、安心が図れる。公共の関与は妥当。民間等に移行するほどの業務量ではない。(年間1件あるかどうか。) 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 100%が国庫補助の事業のため、国の意向による。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 100%が国庫補助の事業のため、国の意向による。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 アスベストの調査(除去)、単体の国庫事業で統合連携はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 事業終了年度までは継続するべきである。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 アスベスト飛散の危険がる建築物があれば対応が必要であり継続しなければならない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 近年では、調査依頼があっても年間1件のため、来年度から当初予算で1件分の計上とした。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現状でも職員の人的負担は少なく、人件費の削減はできている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 吹き付けアスベストが飛散すると危険性が高いので、対象建築物について調査及び除去を行なうことで住民の安全、安心が図れている。吹き付けアスベストの含有量を確認し、危険性の有無を明らかにするために行なう事業で、アスベストの危険から早期に住民を守るために必要で公平公正とであるとえられる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	実態として年間1件の調査依頼があるかの事業であるが、住民の安全安心の観点から依頼があれば早期に対応を図る。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 過去の実績より、年間1戸程度の調査依頼件数であり、調査費の予算計上は1戸とする。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 同上。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					